

ヤマユリ通信 2015 植栽号 Vol.7-2

麻生区地域課題対応事業 麻生ヤマユリ植栽普及会 平成27年9月10日 発行

★目次★

- ◆ヤマユリの植栽へのお誘い・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- ◆ヤマユリ植栽の実際 球根植栽・種からの育て方・・・・・・・・ 2
- ◆活動報告 ヤマユリ展示会、ボランティア活動の声、ヤマユリ鑑賞会・・ 3
- ◆ヤマユリ植栽普及会からのお知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
(ヤマユリ鉢植え・ヤマユリ球根講習会のご案内等)



ヤマユリの植栽に
チャレンジしてみませんか！

実際の講習会の様子です

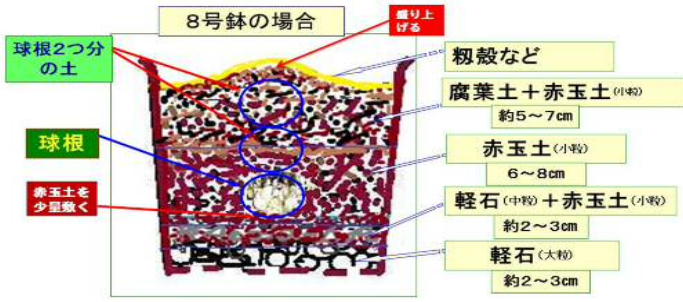
ヤマユリの開花も終わり皆様も観賞なさったことと思います。今年ヤマユリの開花は例年よりも早かったところもありましたが、雨が降り続いたせいか開花が遅れたところも多かったようです。いよいよ秋になりヤマユリの球根の植栽や種の収穫の季節がやってまいります。皆さんヤマユリを育ててみませんか。手順どおり作業されれば、この秋に植えた球根は来夏には大輪の花を咲かせることでしょう。今回は簡単な植栽方法を皆様にみていただくとともに昨年講習会に参加された方々の成果もお知らせしたいと思います。まだご経験のない方も思い切ってチャレンジされてはいかがでしょうか。



今年の下麻生まつのき緑地のヤマユリの花です

用土を順に敷き詰めるだけ
超簡単球根植え付け

ヤマユリの鉢植え図解



用意するもの

- 8号菊鉢(水はけのよいもの)、軽石(大粒) 0、8ℓ、軽石(中粒) 0、5ℓ、赤玉土(小粒) 5、5ℓ、腐葉土 3ℓ

植え付け時期
10月下旬〜11月下旬

植え付け手順

- 8号菊鉢の底から軽石(大粒)を敷き詰める。
- 次に(赤玉土1:軽石(中粒)1)を1ℓ用意し鉢に入れる。少量の赤玉土をその上に敷き、そこにヤマユリの球根をおく
- その上から赤玉土を球根が隠れるまで入れる(3、5ℓ)。
- 続けて混合土(赤玉土3:腐葉土2)を2、5ℓ程度入れて少し中央を盛り上げる。
- 乾燥予防用に腐葉土または粗殻を1cm程度かぶせる(鉢の断面図を参照)。
- 鉢植え終了後、鉢の底から水がでてくる程度までにたっぷり水遣りをす。*冬場は水遣りをほとんどやらなくても良いが、乾いてきたら少量の水をやっても良い。

留意点

- 鉢は西日が当たる場所には置かないこと。東側で午前中だけ木漏れ日がある場所がベスト。風通し

の良いことも必要。

- 植え付け時以外は水をやり過ぎないこと。肥料は一切不要です。

病虫害対策

ヤマユリはウイルスに侵されやすくまた病虫害(アブラムシ、ナメクジ、ヨトウ虫)にも弱い。鉢植えにはベンレート500倍液、オルトラン1000倍液、展着剤ダイソン1滴の混合液を発芽時と、蕾のでき始め(1週間おきに2〜3回)に散布しておけば防げます。

種を植えるなら まず発根作業を

用意するもの

- ヤマユリの蒴、ベンレート500倍液100cc、バームキュライト300cc、チャックのついた冷凍保存用のビニール袋

植え付け手順

- 秋に採取した蒴から種

をとりだし、種子がはいつている種を選別してそれをベンレート500倍液に30分程度浸してから日陰乾燥させる。

- 12月〜1月頃、ビニール袋に、乾燥させた種1000〜2000粒及びバームキュライト300ccを入れて良く混ぜる。その後ベンレート500倍液100ccをビニール袋に注ぎ、袋を振って攪拌しておく。

- ビニール袋を日陰の地中(5〜6cmの深さ)に埋めるか、ビニール袋を新聞紙等にくるみ日の当たらない納屋等に保管しておく。
- 9月下旬ごろにビニール袋から取り出し、プランター(底に軽石を置きその上に(赤玉土(小粒)2:腐葉土1)を8分目まで入れる)に播種する。

*土が乾燥しないように水遣りに留意。翌年3月頃に発芽します。病虫害対策は球根のやり方に準じてください。

留意点

- 秋に採取した種は翌々年の3月に発芽するということになります。ご注意ください。

- プランター等に播種した時は表面が乾いたら水遣りを行ってください。



写真右は蒴と種
左は播種後3月に発芽したもの



ヤマユリ鑑賞会報告

7月8日(水)、奇跡的な梅雨の晴れ間の中で、初めて一般の方を交えてヤマユリ観賞を実施致しました。



観賞中の参加者

ホームページやタウン誌をご覧になって参加された一般の方20名、区役所9名、会員8名の総勢37名での観賞会となりました。当日のコースは下麻生まつのき緑地、王禅寺すぎのき緑地と回り、麻場会員の説明を受けながらメモをとり、写真撮影をして咲き誇るヤマユリの観賞をしました。ヤマユリは丁度見ごろで、観賞会に合わせてくれたよう。参加され

た方々は、「このような場所にヤマユリが咲いているとは知らなかった」、「ヤマユリの栽培に挑戦してもなかなかうまくいかないが、自然の中ではこのようにうまくいくんですね」 「自然と調和しているヤマユリは美しいですね」等の感想を述べられ、大輪のヤマユリを堪能しておられました。

この後は健脚コースへの希望者を募り、戒翁寺や寺家方面へと足を延ばし、12時過ぎに現地解散をいたしました。ご参加の皆様、お疲れ様でした。

猛暑の中、多謝！ ヤマユリ応援団

6月28日(日)休日にもかかわらず、三井住友信託銀行新百合ヶ丘支店の職員11名が、昨年に引き続きヤマユリ植栽活動の作業にご参加下さいまし

た。当日は31度という暑さの中、植栽地の遊歩道を中心に草刈りをしていただき、大変綺麗な仕上がりとりました。



おやしろ公園で作業

現役社会人ということ、皆さん若い方ばかり。シニア層の会員にとつては心強い応援団を得たような気持ちです。願わくば、来年も再来年も続けていただけたら・・・と思っ

ているのですが。参加された方々にちょっとしたお話を伺いました。小西支店長は「区の花ということで強い関心を持っており、自分たちも積極的に作業に参加しています。ヤマユリが自分たちとお客様の関係を深める媒介となっているような気がし

ます」とボランティア参加の動機について話していらっしゃいました。

幹事役の五十嵐さんは「今回初めて作業に参加しました。支店のCSRのリーダーとしても個人としてもヤマユリの育成ということに魅力を感じます」。

さらに最若手の野口さんは「今年入社した新人ですが、大変気持ちよく作業に従事出来ました。今後このような地域の活動に積極的に参加していきたいと思えます」と力強く発言されました。皆様ありがとうございました。



応援団の皆さん

ヤマユリ展示会 無事終了



恒例のヤマユリ展示会を7月2日～15日まで麻生区役所のロビーにて開催しました。中庭等も含めて会員からの提供鉢が20鉢、成長過程を見ていただくための播種鉢を3鉢、それにヤマユリの生態を説明した写真資料などを展示し、多くの皆様にご観賞いただきました。会場にいた会員に質問される方も多く、ヤマユリに対する関心の高まりを感じた2週間でした。

鉢植え講習会のご案内

ヤマユリの球根を使った鉢植え栽培の仕方を体験してみませんか。初めてでも大丈夫です。来年の夏にはその優雅なたたずまいと濃厚な匂いを堪能できますよ。

① 日時 11月11日(水)午後1時30分～4時 (雨天決行)

② 場所 麻生区役所4階第1会議室 及び区役所前広場

③ 定員 30名 定員を超える応募があれば抽選といたします。

④ 申込資格 *申込はお一人様1通。区内在住者、在勤者、在学者とさせていただきます。

⑤ 受講料 1,500円(但し球根、鉢、用土を含む)

⑥ 応募方法 往復ハガキに、郵便番号、住所、氏名、電話番号をご記入の上左記にお申し込みください。

〒215-8570

麻生区万福寺1の5の1

麻生区役所地域振興課

「麻生ヤマユリ植栽普及会」

担当

☎044-965-5116

FAX 044-965-5201

⑦ 応募締切 10月22日(木)

必着

⑧ その他 当日は駐車場の用意はございません。あらかじめご了承ください。またお持ち帰りの仕立て鉢は約10kgほどになります。

鉢植え講習会参加の成果

昨年11月の講習会に参加された 王禅寺在住のYさん宅で見事なヤマユリが7月16日に開花しました。Yさんは「講習会で教えられたとおりの水遣りの管理を行い、また虫よけとして唐辛子をつけるなどの世話をしました。風が強いときなど、家の中にいれたりしましたが、ちょっと過保護でしたかね」と愛おしげにヤマユリを見ながらお話をして下さいました。ヤマユリ愛好家がまた誕生したようです。



Yさん宅のヤマユリ見事です！

植え替え講習会のご案内

ヤマユリの植栽にチャレンジしていらつしやる方で何かお困りの点とか、相談をしてみたい点とかありませんか。ヤマユリ植栽普及会では過去3年間でヤマユリ植栽講習会にご参加いただいた方々を対象に植え替え方法を中心とした無料相談会を実施いたします。

対象者の方々には当会から個別にご案内を差し上げます。ご希望の方は案内に沿ってお申し込みください。

① 日時 9月30日午後2時～4時

② 場所 麻生区役所4階第1会議室

③ 定員 30名 応募者多数の場合は抽選とさせていただきます

会員になりませんか！

④ 内容 管理の仕方の講義、グループ形式の個別相談会等、

麻生区のヤマユリを公園や緑地でお好きな時に御一緒に育ててみませんか。軽い作業のボランティア活動です。一度覗いてみてください。お待ちしております。

例会 原則毎月第3木曜日

午後2時から交流館

ヤマユリにて開催

活動場所 市民館裏、おやしる

公園、下麻生まつのみ

緑地、すぎのき緑地、

王禅寺公園、梨子ノ木

緑地、弘法松公園など

ヤマユリ植栽普及会への入会等のお問い合わせ。またヤマユリ通信の記事の内容についてのご照会は左記までお願いを致します。

事務局 ☎(090)2565

13390)

事務局長 山田 栄二

編集責任者 松田 肇